



WELLBEING AWARDS 2026

【WBA2600424】

■一般社団法人エミーバンク協会

「エミーゼニーゲーム～人を幸せにするおカネを体感するウェルビーイングワークショップ」

全体総評

本取り組みは、「お金」と「幸せ」の関係性をテーマに、利潤の最大化と感謝（エミー）の最大化という二つの経済圏をゲーム形式で体験し、お金の使い方・流れ方が人と社会のあり方に与える影響を問い直すワークショップです。金銭的価値だけでなく、笑顔や感謝といった感情価値を通貨として扱うことで、価値のものさしを揺さぶり、ウェルビーイングと経済活動のつながりを直感的に理解できるようにしている点が特徴です。審査では、お金という固くなりがちなテーマを、思想性と体験性を両立させた社会実験として長年わかりやすく伝えてきたことや、ワークショップのオープンソース化を通じて他者を巻き込む姿勢が高く評価されました。一方で、参加者がもともとお金に関心やリテラシーの高い層に偏りがちであることや、「ゼニー」と「エミー」が対立構造に見えないようにする工夫、またメジャーな広がりやを阻む要因の解消など、態度変容や社会変革にどこまでつながっているかを示すエビデンスには伸びしろがあるとの指摘もありました。こうした点から、お金とウェルビーイングの関係を再考させる、ユニークな社会実験として評価されました。持続可能なエコシステムとしての定着や、より広い層への波及に向けた次の一手が、今後いっそう期待されています。

最も評価が高かった点

金銭的価値だけを前提とする従来の経済観から一步踏み出し、「笑顔」や「感謝」といった感情価値を通貨に見立てることで、お金の意味や価値を体感的に捉え直すワークショップ構造が高く評価されました。利潤の最大化と感謝の最大化という異なる目的をもつ経済圏を行き来しながら、お金とウェルビーイングのつながりを参加者自ら考え直すプロセスを生み出している点が、思想性・体験性の両面から特に印象的でした。

貴団体のユニークネス

従来の金融教育やマネーセミナーが知識やスキルの習得に主眼を置いてきたのに対し、本取り組みは、ゲームという社会実験の形式を通じて「価値とは何か」「人を幸せにするお金とは何か」という根源的な問いを扱っている点がユニークです。また、ワークショップの設計をオープンソース化し、他団体や地域との共創を促していることで、自団体の活動にとどまらず、お金とウェルビーイングをめぐる対話の土壌を社会全体に広げようとしている点が、エミーバンク協会ならではの強みとして評価されました。



さらなるウェルビーイング活動としての期待

本ワークショップの思想性と体験価値を生かしつつ、参加前後での価値観の変化や行動の変容を示すエピソード・データを可視化していくことで、「お金とウェルビーイング」の関係性がより伝わりやすくなると感じます。あわせて、ゼニーとエミーが単なる対立構造に見えない工夫や、日常生活・実際の経済活動への橋渡しを強めていただくことで、心の豊かさと経済合理性を両立させる実験として一層発展していくことを期待しています。

2026年3月

文責・ウェルビーイングアクション実行委員会事務局

※上記テキストは審査の過程で寄せられた委員のコメントをもとに、事務局の責任で集約しまとめたものです。